Jazz Interview Vol.30

実力派女性サックス・プレイヤー！

ティア・フラー【Tia Fuller】

サックス・プレイヤー＆作曲家だけでなく、教育者としての顔も持つ Mack Avenue Records いち押しの実力派女性サックス・プレイヤー＝ティア・フラー。
『Healing Space』(2007)、『Decisive Steps』(2010)に続く、Mack Avenue Records からの第 3 弾アルバムで、スペシャル・ゲストにテリ・リン・キャリントン (ds)、ジョン・パティトゥッチ (b)、ダイアン・リーヴス (vo) を迎え、全 13 曲を収録した『Angelic Warrior』をリリースしたばかりのティア・フラーに、新作のこと、教育について、日本のこと、ツアーに参加したビヨンセやエスペランサのことなど、貴重な話を聞きかせてもらった。

【2012 年 8 月　取材＆文 : 加瀬正之】

photo by Keith Major

♪ 新作『Angelic Warrior』のレコーディングはいかがでしたか？

今回のレコーディングは私の作曲、アレンジ、製作、パフォーマンス面において、より深い探求心を目覚めさせてくれた変革的経験になったわ。いろいろな意味で奇跡だった。みんなのスケジュール調整、音楽の準備に要する時間、スペシャル・ゲストとバンドの結束、物流に関する気遣いなどで大変な中、みんなが愛情を持って親切に積極的にやるべきことを最高の形で成し遂げてくれたの。私のマネージャーからミュージシャン、エンジニアの人たちまで、このレコーディングを通して正に完全に無欲な天使たちに恵まれていたという感じだったわ。

♪ 新作『Angelic Warrior』のコンセプトについて

一定のバランスを維持しながら私たち全てに内在している「Angel ＝天使」と「Warrior ＝戦士」の双対性を称えること。この二つの定義は、「天使」＝優雅で、平和的で、つつましく、見識がある。「戦士」＝闘志、決断力、洞察、忍耐力、先見、権力を持ち合わせている。私たちはみんなこのような特性をたくさん持っていて、挑戦するということは逆境の中で「天使」と「戦士」という二つのバランスを維持できることだと信じているわ。この『Angelic Warrior ＝天使のような戦士』の精神に近づくこと、抱き締めること、絶えず発散すること、また、私の人生の中の全ての「天使」と「戦士」を称えること、それこそが道を開く手助けになるということを伝えたいの。

♪ スペシャル・ゲストのテリ・リン・キャリントン (ds)、ジョン・パティトゥッチ (b)、ダイアン・リーヴス (vo) はどのようにして選ばれたのですか？

現在の私のバンドの形と作曲の過程で聴こえてきたそれぞれの音楽的な声によって私が選んだの。結果的に大満足だったわ。テリ・リン・キャリントンのバンド「モザイク」で演奏することで、彼女のサウンドが私に耳の中でとても際立ったの。特にタイトル曲の「Angelic Warrior」でね。それで、彼女がジョン・パティトゥッチとダイアン・リーヴスを薦めてくれたのよ。最初はダイアンに歌ってもらおうと「Core of Me」を書いたんだけれど、ダイアンが代わりに私がアレンジした「Body and Soul」を歌うことを選んだの。それはとても光栄だったわ。3 人のスペシャル・ゲストは正にアルバムの中のハイライトで、本当に恵まれていると感じているわ。

♪ ジョン・パティトゥッチのピッコロ・ベースは、まるでギターのようなサウンドを出していますが、これは彼自身のアイデアだったのですか？

そう、彼のアイデアよ。セッションに入る前に彼に電話をした時、エレクトリック・ベースを弾くことにとてもエキサイトしていて、その時にピッコロ・ベースを持っているからリハーサルに持っていくと言ったの。リハーサルで彼のピッコロ・ベースを聴いた時に、元々エレクトリック・ベース用に私が書いたベース・ラインがよりクリアに話しているように聴こえたの。それに私がサックスとエレクトリック・ベースのインタープレイのために書いた対位的なメロディにもよりフィットしていると感じたわ。

♪ レコーディングで一番苦労した曲は？

一番苦労したのは「Angelic Warrior」。リズム的にも複雑で、レコーディング・セッションの 3 日前に書き上げた最後の曲だったの。曲の核となる方向性を失うことなく具体化したかったから、リハーサルで苦労もしたけど、最終的にバンドでの演奏を聴いた時にはその仕上がりにとても興奮したわ。それにこの曲を誇りにも感じているの。この曲は私の作曲面の水準を引き上げてくれて、次の作品への出発点にもなったから。

♪ 作曲について

ドライブ中や料理中、歩いている時にも一日中常にメロディが聴こえるの。この『Angelic Warrior』を準備している時も大半の時間は移動に割かれていたんだけど、私のブラックベリーに入っている「ヴォイス・ノート」というアプリを活用しながら、飛行機の中でたくさんの曲を書いたわ。普通はメロディやベース・ラインが先に聴こえてきて、だんだんと曲になっていくんだけど、コード・チェンジはピアノを弾きながら最終段階で確認していくの。ピアノはグルーヴ感を出しながらサウンドを広げたり、曲の響きを伝えたりするのにとても大切な楽器だわ。

♪ あなたはジャズ・ベーシストの父とシンガーの母の間に生まれたそうですが、サックスを選んだ理由を教えて下さい。

サックスを手にしたのは 12 歳の時。それまではミドル・スクールでフルートを吹いていて、ある時バンドの先生にジャズ・バンドに入れないかと尋ねたことがあったの。それで先生がジャズのアンサンブルにフルート奏者はいないから、運指が似ているサッ

クスを勧めてくれたのよ。それと、当時 “ フラー・サウンド ” という私のファミリー・バンドの一員にもなりたくて、それにはサックスを吹くしかないと感じたの。それで初めてサックスを手にして、運指を確認しながら B フラットの低い音を家中に響くようなありったけの大音量で吹いてみたのよ。その時に「これは私の楽器！」って確信したわ。

♪ 音楽を始めた頃にお気に入りだったジャズ・ミュージシャンは誰ですか？

ジョン・コルトレーンとキャノンボール・アダレイよ。

♪ あなたは音楽の教育面にも力を入れていますが、今後も演奏活動と平行して音楽を教えることも続けて行きますか？

絶対に続けるつもりよ。私の両親は既に教育者としてリタイヤしていて、私が 10 代の頃は教えることに対する興味はなかったんだけれど、その楽しさや喜びを見つけて、その美しい芸術の形を共有したり、恩返しもしたいと思ったの。一番大切なことはあなたがすることを信頼・信用し切ることで、あなたが決断を下すこと、人生の方向性を定めることに恐れないこと。あと、私が 8 年前に考案した「VIR メソッド」と呼ばれる方法論を教えているの。これは視覚化のパワーについて学んだり、話したり、見たり、聞いたりする過程で思い浮かんだもので、次の 3 段階で構成されているの。①（音の）視覚化。②内面化。そして、③音楽と人生のあらゆる全ての再生。このプロセスが本質的に音楽の歴史や、あなたを通してあなた自身の声に触れること、先人たちに敬意を払うことにも通じるの。

♪ あなたは 2004 年に日本人ジャズ・ピアニストの早間美紀のアルバム『Vibrant』に参加していますが、他に日本人のミュージシャンとの共演歴はありますか？

美紀は本当に素晴らしいわ。これまでたくさんの日本人のミュージシャンとの共演しているけど、ピアニストの辻利恵とはビヨンセの女性だけのバンドで 5 年間一緒にツアーをしたわ。利恵と美紀は私の大のお気に入りよ。

♪ 日本のイメージについて

日本は大好きで、毎日の生活の中に今でも深く根付いている奥深い文化も素敵だわ。前回日本を訪れた時にとても感銘を受けたのは、早朝自然に囲まれながら、体を動かしたり、伸ばしたり、瞑想にふけっていた 70~80 歳くらいのお年寄り達の姿だったわ。日本の文化にはいつも夢中にさせられて、ニュージャージーにある私の家の空間にも日本的な装飾やいくつか伝統的なものが飾ってあるのよ。私にとって日本は穏やかで、平和で、調和がとれた美しい場所という感じだわ。

♪ あなたはビヨンセのバンドにも在籍して、（第 53 回グラミー賞で最優秀新人賞を受賞した女性ジャズ・ベーシスト）エスペランサのツアー・バンドではアシスタント・ミュージカル・ディレクターを務めましたが、ビヨンセとエスペランサ 2 人について聞かせて下さい。

ビヨンセは並外れた労働観を持っていて、物事全ての可能性、特に自分自身で強く抱いているヴィジョンがあれば「No」という答えはないということを絶えず間接的に証明して見せてくれたわ。エスペランサは本当にたくさんの情報を持っていて、彼女自身のヴィジョンの価値、彼女の周りの人々の価値をはっきり認めていることにも驚かされたわ。絶えず限界に挑んでいる極めて恵み深く優れたミュージシャンであるだけでなく、彼女は情報を吸収するスポンジの様でもあるの。あんなに若くしてとてもたくさんの知識に溢れているから、私は彼女のことを何度も “ 歩く百科事典 ” と呼んでいるのよ。ビヨンセとエスペランサは 2 人とも道を開く手助けをしてくれる確かな天使よ。

photo by Keith Major

♪ 音楽以外の趣味はありますか？

エクササイズすることと家族と一緒に時間を過ごすことが大好きだわ。あと料理も好き。最近新しいジューサーを手に入れたから、家で過ごす時はいつでもジューサーを手放せないのよ。“ ジューシング・クイーン！ ” って感じね（笑）。

♪ あなたの夢、目標は何ですか？

毎日夢に生きていることにとても幸せを感じるの。何年も前に私自身に言い聞かせたことがあって、それは音楽を演奏しながら世界中を旅して、快適な生活を送って、それを家族にももたらしたいということだったのよ。今現在の私の目標は、健康や「天使」の部分と「戦士」の部分の精神のバランスを維持しながら、わたしの人生・生活に関わる全てのことを絶えず次のレベルに上げていくこと。

♪ 最後に『The Walker’s』の読者にメッセージをお願いします。

あなた自身に内在する本当の “ 天使のような戦士（Angelic Warrior）” に近づきながら、抱き締めながら、疑うことなく、恐れることなく、しっかりとした足取りで前進し続けて欲しいわ。

【ティア・フラー　オフィシャル・ウェブサイト】
http://www.tiafuller.com/

Mack Avenue Records からの第 3 弾～実力派女性サックス奏者＝ティア・フラーのニュー・アルバム！

Angelic Warrior
Tia Fuller

Mack Avenue Records :
MAC-1068 (Import CD)
Now On Sale!
【＊ P11 にレビュー掲載！】